

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成20年8月14日
【四半期会計期間】	第60期第1四半期（自平成20年4月1日至平成20年6月30日）
【会社名】	株式会社フジマック
【英訳名】	FUJIMAK CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 熊谷 俊範
【本店の所在の場所】	東京都港区新橋五丁目14番5号
【電話番号】	03 - 3434 - 7791
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 坂本 信治
【最寄りの連絡場所】	東京都港区新橋五丁目14番5号
【電話番号】	03 - 3434 - 7791
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 坂本 信治
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次		第60期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第59期
会計期間		自平成20年 4月1日 至平成20年 6月30日	自平成19年 4月1日 至平成20年 3月31日
売上高	(千円)	7,102,041	33,484,203
経常利益(損失)	(千円)	76,653	719,238
四半期(当期)純利益(純損失)	(千円)	158,411	158,481
純資産額	(千円)	7,772,394	7,947,503
総資産額	(千円)	22,748,681	23,644,485
1株当たり純資産額	(円)	1,185.96	1,212.68
1株当たり四半期(当期)純利益金額(純損失金額)	(円)	24.17	24.18
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)	-	-
自己資本比率	(%)	34.2	33.6
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	1,526,826	777,316
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	87,162	524,058
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	756,429	418,858
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高	(千円)	3,982,969	3,272,607
従業員数	(人)	1,037	995

(注) 1. 売上高には消費税等は含まれておりません。

2. 第60期第1四半期連結累計(会計)期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3. 第59期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

3【関係会社の状況】

当第1四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成20年6月30日現在

従業員数（人）	1,037[160]
---------	------------

（注）従業員数は就業人員であり、顧問・嘱託及びパートは当第1四半期連結会計期間の平均人員を[]外数で記載しております。

(2) 提出会社の状況

平成20年6月30日現在

従業員数（人）	697[68]
---------	---------

（注）従業員数は就業人員であり、顧問・嘱託及びパートは当第1四半期会計期間の平均人員を[]外数で記載しております。

第2【事業の状況】

1【生産・受注及び販売の状況】

当社及び連結子会社の事業は、業務用厨房機器の製造・販売及び保守修理であり単一の事業区分のため、事業の種類別セグメントごとの分類はしていません。

このため、生産・受注及び販売の状況については、品目別の実績を掲示しております。

(1) 品目別生産実績

区分	当第1四半期連結会計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
製品	
熱機器(千円)	718,709
冷機器(千円)	482,169
洗浄・消毒機器(千円)	129,439
サービス機器(千円)	68,708
合計(千円)	1,399,027

(注) 1. 金額は製造原価により表示しております。

2. 金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 品目別仕入実績

区分	当第1四半期連結会計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
製品	
熱機器(千円)	228,413
冷機器(千円)	45,209
洗浄・消毒機器(千円)	31,164
サービス機器(千円)	356,693
その他(千円)	53,160
合計(千円)	714,642
商品	
熱機器(千円)	425,626
冷機器(千円)	726,349
洗浄・消毒機器(千円)	199,657
サービス機器(千円)	432,140
その他(千円)	556,724
合計(千円)	2,340,498

(注) 1. 金額は仕入価格により表示しております。

2. 金額には消費税等は含まれておりません。

(3) 品目別受注実績

区分	受注高	受注残高
	当第1四半期連結会計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日現在)
製商品		
熱機器(千円)	2,055,532	812,567
冷機器(千円)	1,571,984	607,009
洗浄・消毒機器(千円)	601,309	346,823
サービス機器(千円)	1,507,712	742,883
その他(千円)	694,518	325,354
合計(千円)	6,431,057	2,834,637

- (注) 1. 金額は販売価格により表示しております。
2. 金額には消費税等は含まれておりません。

(4) 品目別販売実績

区分	当第1四半期連結会計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
製商品	
熱機器(千円)	1,926,997
冷機器(千円)	1,528,650
洗浄・消毒機器(千円)	505,299
サービス機器(千円)	1,206,816
その他(千円)	658,785
計(千円)	5,826,549
保守修理(千円)	1,275,491
合計(千円)	7,102,041

- (注) 1. 金額には消費税等は含まれておりません。
2. 主要顧客(総販売実績に対する割合が10%以上)に該当するものではありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態及び経営成績の分析】

(1)業績の状況

当第1四半期連結会計期間におけるわが国の経済は、昨今のエネルギー・原材料価格等の国際商品市況の高騰が企業業績の伸び悩みや個人消費低迷の要因となるなど、景気の先行きに不透明感が増してきております。

当社グループ最大の得意先であるレストラン・ファストフード等の外食関連産業でも、物価上昇による消費者の節約志向の高まりが既存店売上・客数の前年比マイナスの一因となるなどの不安定な局面を迎えており、当社グループの経営環境につきましても、長期化する素材価格や原油価格の高止まり等が収益圧迫要因となり、依然として厳しい状況が続いております。

このような情勢の下で、当第1四半期連結会計期間の売上高は71億2百万円となりました。利益面では販管費の増加などにより、経常損失は7千6百万円(前年同期は1百万円)、四半期純損失は子会社の繰延税金資産の取崩し等により1億5千8百万円(前年同期は2千7百万円)でありました。

なお、当社グループの売上計上はいわゆる期末月である3月及び9月に集中するのが現状であり、当第1四半期連結会計期間についても売上高は例年通り相対的に低水準にとどまるという結果になっております。

また、国内外別の業績は次のとおりであります。

国内売上

国内はコンサルティングから施工まで一貫体制による積極的な販売体制の強化や、コンビニエンスストア他、幅広い業種、業態へ販売先の拡大に努めた結果、売上高は68億3千6百万円(前年同期比3.3%減)となりました。

海外売上(主として東南アジア・グアム)

シンガポール、グアム等の海外子会社での営業に加えて、韓国、香港等への自社製品の拡販に注力した結果、売上高は2億6千5百万円(前年同期比1.5%増)となりました。

なお、当社及び連結子会社の事業は、業務用厨房機器の製造・販売及び保守修理であり単一の事業区分のため、事業の種類別セグメントごとの分類はしておりません。

(2)キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、税金等調整前四半期純損失が6千2百万円(前年同期は3百万円)でありましたが、売上債権の減少などにより、当第1四半期連結会計期間末には39億8千2百万円(前連結会計年度末比21.7%増)となりました。

当第1四半期連結会計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は15億2千6百万円となりました。

これは主に、売上債権の減少によるものであります。

(投資活動におけるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は8千7百万円となりました。

これは主に、有形固定資産、投資有価証券等の取得による支出が6千5百万円及び貸付による支出が純額で2千2百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は7億5千6百万円となりました。

これは主に借入金の返済が7億4百万円あったことによるものであります。

(3)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4)研究開発活動

当第1四半期連結会計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、3千8百万円であります。

なお、当第1四半期連結会計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第1四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第1四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	25,000,000
計	25,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成20年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成20年8月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	7,136,000	7,136,000	東京証券取引所 市場第二部	-
計	7,136,000	7,136,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式 総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成20年4月1日～ 平成20年6月30日	-	7,136,000	-	1,471,150	-	1,148,365

(5)【大株主の状況】

大量保有報告書等の写しの送付等がなく、当第1四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりませ
ん。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成20年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成20年6月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 582,300	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 6,553,000	65,530	-
単元未満株式	普通株式 700	-	一単元（100株）未満の株式
発行済株式総数	7,136,000	-	-
総株主の議決権	-	65,530	-

（注）「完全議決権株式（その他）」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株含まれております。また、「議決権の数」の欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数10個が含まれております。

【自己株式等】

平成20年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％）
株式会社フジマック	東京都港区新橋五丁目14番5号	582,300	-	582,300	8.16
計	-	582,300	-	582,300	8.16

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成20年4月	5月	6月
最高（円）	380	601	449
最低（円）	353	370	411

（注）最高・最低株価は、東京証券取引所市場第二部におけるものであります。

3 【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の変動はありません。

第5【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る要約 連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,982,969	3,272,607
受取手形及び売掛金	5,308,377	7,639,361
商品	1,150,038	833,098
製品	1,711,517	1,385,422
半製品	110,235	86,244
原材料	1,082,486	1,089,972
仕掛品	118,713	96,348
その他	1,278,001	1,262,975
貸倒引当金	51,847	58,972
流動資産合計	14,690,494	15,607,057
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1 2,724,693	1 2,720,307
減価償却累計額	2,026,710	2,014,026
建物及び構築物(純額)	697,982	706,280
機械装置及び運搬具	1 2,623,068	1 2,607,760
減価償却累計額	1,881,340	1,839,501
機械装置及び運搬具(純額)	741,727	768,258
土地	1 3,703,723	1 3,714,225
その他	1,411,597	1,401,560
減価償却累計額	1,236,934	1,219,057
その他(純額)	174,663	182,503
有形固定資産合計	5,318,096	5,371,268
無形固定資産		
投資その他の資産	63,890	67,480
投資有価証券	923,682	914,451
その他	2,033,145	1,933,524
貸倒引当金	280,628	249,297
投資その他の資産合計	2,676,199	2,598,679
固定資産合計	8,058,187	8,037,428
資産合計	22,748,681	23,644,485

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る要約 連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,302,404	9,450,721
短期借入金	100,000	750,000
1年内返済予定の長期借入金	236,000	252,000
未払法人税等	164,301	229,416
賞与引当金	139,704	320,309
役員賞与引当金	4,150	16,600
製品保証引当金	98,250	103,000
その他	1,378,027	1,017,578
流動負債合計	11,422,838	12,139,626
固定負債		
社債	1,000,000	1,000,000
長期借入金	710,000	748,000
退職給付引当金	244,222	222,528
役員退職慰労引当金	340,057	333,771
その他	1,259,167	1,253,056
固定負債合計	3,553,448	3,557,355
負債合計	14,976,286	15,696,981
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,471,150	1,471,150
資本剰余金	1,148,365	1,148,365
利益剰余金	3,921,549	4,126,534
自己株式	441,265	441,265
株主資本合計	6,099,799	6,304,785
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	84,121	90,883
繰延ヘッジ損益	150	149
土地再評価差額金	1,570,044	1,575,900
為替換算調整勘定	18,578	23,915
評価・換算差額等合計	1,672,595	1,642,718
純資産合計	7,772,394	7,947,503
負債純資産合計	22,748,681	23,644,485

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	7,102,041
売上原価	4,693,173
売上総利益	2,408,867
販売費及び一般管理費	2,476,313
営業損失()	67,445
営業外収益	
受取利息	2,511
受取配当金	8,918
受取賃貸料	8,016
受取手数料	18,114
その他	15,532
営業外収益合計	53,093
営業外費用	
支払利息	11,129
貸倒引当金繰入額	31,331
持分法による投資損失	10,097
その他	9,743
営業外費用合計	62,301
経常損失()	76,653
特別利益	
固定資産売却益	7,385
貸倒引当金戻入額	7,453
特別利益合計	14,838
特別損失	
固定資産売却損	149
固定資産除却損	697
投資有価証券評価損	56
特別損失合計	903
税金等調整前四半期純損失()	62,718
法人税、住民税及び事業税	150,898
法人税等調整額	55,205
法人税等合計	95,693
四半期純損失()	158,411

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失()	62,718
減価償却費	85,570
退職給付引当金の増減額(は減少)	21,694
受取利息及び受取配当金	11,430
支払利息	11,129
固定資産除売却損益(は益)	6,538
投資有価証券評価損益(は益)	56
持分法による投資損益(は益)	10,097
売上債権の増減額(は増加)	2,339,610
たな卸資産の増減額(は増加)	666,457
仕入債務の増減額(は減少)	165,600
その他	177,781
小計	1,733,194
利息及び配当金の受取額	11,117
利息の支払額	4,811
法人税等の支払額	214,152
法人税等の還付額	1,478
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,526,826
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	43,143
有形固定資産の売却による収入	20
投資有価証券の取得による支出	22,039
非連結子会社に対する貸付による支出	20,000
非連結子会社に対する貸付金の回収による収入	3,000
従業員に対する貸付けによる支出	5,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	87,162
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(は減少)	650,000
長期借入金の返済による支出	54,000
配当金の支払額	52,429
財務活動によるキャッシュ・フロー	756,429
現金及び現金同等物に係る換算差額	27,128
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	710,362
現金及び現金同等物の期首残高	3,272,607
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,982,969

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	<p>当第1四半期連結会計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)</p>
<p>1. 会計処理基準に関する事項の変更</p>	<p>(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法の変更 たな卸資産 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。 これによる、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失への影響はありません。</p> <p>(2) 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用 当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用しております。 これによる、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失への影響はありません。</p>

【簡便な会計処理】

	当第1四半期連結会計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
1. 棚卸資産の評価方法	<p>四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し前連結会計年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法を使用しております。</p> <p>また、棚卸資産の簿価切下げに関して収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法、あるいは営業循環過程から外れた滞留又は処分見込等の棚卸資産で前連結会計年度末において帳簿価額を処分見込価額まで切り下げているものについては、前連結会計年度以降に著しい変化がないと認められる限り、前連結会計年度末における貸借対照表価額で計上する方法を使用しております。</p>
2. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法	<p>法人税等の納付税額の算定に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法を使用しております。</p> <p>また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法、あるいは前連結会計年度末以降に経営環境等、又は、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合に、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法を使用しております。</p>

【追加情報】

当第1四半期連結会計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
<p>(有形固定資産の耐用年数の変更)</p> <p>当社の機械装置の耐用年数については、平成20年度の法人税法の改正を契機として見直しを行い、当第1四半期連結会計期間より変更致しました。</p> <p>この結果、従来の方法に比べ、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失は、それぞれ4,984千円増加しております。</p>

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)																												
<p>1 担保に供している資産は次のとおりであります。</p> <p>イ) 工場財団設定のうえ担保に供しているもの。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">建物及び構築物</td> <td style="text-align: right;">309,162千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">機械装置及び運搬具</td> <td style="text-align: right;">460,222</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">土地</td> <td style="text-align: right;">1,666,381</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">2,435,766</td> </tr> </table> <p>ロ) その他担保に供しているもの。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">建物及び構築物</td> <td style="text-align: right;">15,642千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">土地</td> <td style="text-align: right;">927,804</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">943,446</td> </tr> </table>	建物及び構築物	309,162千円	機械装置及び運搬具	460,222	土地	1,666,381	計	2,435,766	建物及び構築物	15,642千円	土地	927,804	計	943,446	<p>1 担保に供している資産は次のとおりであります。</p> <p>イ) 工場財団設定のうえ担保に供しているもの。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">建物及び構築物</td> <td style="text-align: right;">315,961千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">機械装置及び運搬具</td> <td style="text-align: right;">479,773</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">土地</td> <td style="text-align: right;">1,666,381</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">2,462,116</td> </tr> </table> <p>ロ) その他担保に供しているもの。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">建物及び構築物</td> <td style="text-align: right;">15,903千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">土地</td> <td style="text-align: right;">927,804</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">943,707</td> </tr> </table>	建物及び構築物	315,961千円	機械装置及び運搬具	479,773	土地	1,666,381	計	2,462,116	建物及び構築物	15,903千円	土地	927,804	計	943,707
建物及び構築物	309,162千円																												
機械装置及び運搬具	460,222																												
土地	1,666,381																												
計	2,435,766																												
建物及び構築物	15,642千円																												
土地	927,804																												
計	943,446																												
建物及び構築物	315,961千円																												
機械装置及び運搬具	479,773																												
土地	1,666,381																												
計	2,462,116																												
建物及び構築物	15,903千円																												
土地	927,804																												
計	943,707																												
<p>2 次のとおり金融機関からの借入金等に対し、債務保証を行っております。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">株式会社アトリュクス</td> <td style="text-align: right;">70,000千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">イトー運輸サービス株式会社</td> <td style="text-align: right;">50,395</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">富士マック股?有限公司</td> <td style="text-align: right;">13,976</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">福喜マック貿易(上海)有限公司</td> <td style="text-align: right;">178,216</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">312,587</td> </tr> </table>	株式会社アトリュクス	70,000千円	イトー運輸サービス株式会社	50,395	富士マック股?有限公司	13,976	福喜マック貿易(上海)有限公司	178,216	計	312,587	<p>2 次のとおり金融機関からの借入金等に対し、債務保証を行っております。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">株式会社アトリュクス</td> <td style="text-align: right;">70,000千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">イトー運輸サービス株式会社</td> <td style="text-align: right;">54,328</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">富士マック股?有限公司</td> <td style="text-align: right;">13,044</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">福喜マック貿易(上海)有限公司</td> <td style="text-align: right;">142,873</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">280,245</td> </tr> </table>	株式会社アトリュクス	70,000千円	イトー運輸サービス株式会社	54,328	富士マック股?有限公司	13,044	福喜マック貿易(上海)有限公司	142,873	計	280,245								
株式会社アトリュクス	70,000千円																												
イトー運輸サービス株式会社	50,395																												
富士マック股?有限公司	13,976																												
福喜マック貿易(上海)有限公司	178,216																												
計	312,587																												
株式会社アトリュクス	70,000千円																												
イトー運輸サービス株式会社	54,328																												
富士マック股?有限公司	13,044																												
福喜マック貿易(上海)有限公司	142,873																												
計	280,245																												
<p>3</p>	<p>3 輸出割引手形</p> <p style="text-align: right;">1,252千円</p>																												

(四半期連結損益計算書関係)

当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
給与手当	1,018,914千円
賞与引当金繰入額	119,113
役員賞与引当金繰入額	4,150
退職給付費用	67,811
役員退職慰労引当金繰入額	6,286

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年6月30日現在) (千円)	
現金及び預金勘定	3,982,969
現金及び現金同等物	3,982,969

(株主資本等関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成20年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数
普通株式 7,136千株
2. 自己株式の種類及び株式数
普通株式 582千株
3. 新株予約権等に関する事項
該当事項はありません。
4. 配当に関する事項
配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成20年6月27日 定時株主総会	普通株式	52,429	8	平成20年3月31日	平成20年6月30日	利益剰余金

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

当社及び連結子会社の事業は業務用厨房機器の製造・販売及び保守修理であり、単一の事業区分のため該当事項はありません。

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
1株当たり純資産額 1,185.96円	1株当たり純資産額 1,212.68円

2. 1株当たり四半期純損失金額

当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	
1株当たり四半期純損失金額	24.17円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
四半期純損失(千円)	158,411
普通株主に帰属しない金額(千円)	-
普通株式に係る四半期純損失(千円)	158,411
期中平均株式数(株)	6,553,677

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年8月8日

株式会社フジマック

取締役会 御中

監査法人トーマツ

指定社員
業務執行社員 公認会計士 谷合 章 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 川島 繁雄 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フジマックの平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析の手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フジマック及び連結子会社の平成20年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。